

かていがくしゅう てび ねんせい
家庭学習の手引き（1年生）

《**おうちのかたへ**》

◎**家庭で学習する習慣をつけよう**

- ・1年生から初めて家庭で学習をしていきます。まずは、「宿題を毎日する習慣」を身につけましょう。その日に学校で学習したことを家庭で復習するという意識づけをしていきましょう。

◎**正しい鉛筆の持ち方と正しい姿勢を身につけよう**

- ・正しく鉛筆を持ち、良い姿勢で書くことができると、手が疲れにくく筆圧がしっかりとし、字の形を整えて速く書くことができます。
- ・1年生の間に正しく鉛筆を持って、良い姿勢で書くことを身につけましょう。

◎**学習環境を整えてから取り組もう**

- ・学習する時には、集中できる環境を作りましょう。机の上を整理整頓し、静かな環境の中で取り組みましょう。集中することで理解がしやすくなります。テレビ・ゲーム・スマートフォンなどを片づけてから学習をはじめないようにしましょう。お子さんの話をじっくり聞いていただくことも大切です。

◎**「10分×学年数(1)+10分」⇒1日最低限、「20分」が家庭学習の目安です。**

- ・上級生になるにつれて、宿題の量は増えていきます。1年生から、家庭で20分間は、落ち着いて、集中して学習に取り組める習慣を、少しずつつけていきましょう。

1ねんせいの みなさんへ

★おうちのひとに、いわれなくても、じぶんでがくしゅうをはじめましょう。

1. **がくしゅうをはじめるまえにすること**

- (1) つくえのうえをかたづけ、えんぴつをけずりましょう。
- (2) がっこうでもらったぷりんとや、しゅくだいをだしましょう。
- (3) てれび・げえむ・どうがをけしましょう。(すまあとふおんなどがあるひとも、けします。)

2. **がくしゅうをしよう**

- (1) がっこうでならったことを、ぷりんとでべんきょうしましょう。
(※そのほかのしゅくだいがあるときは、それもやりましょう。)
- (2) がっこうでかりたほんなどをよみましょう。
- (3) がっこうであったことをおうちのひとにおはなししましょう。

3. **かていがくしゅうがおわってからすること**

- (1) やったしゅくだいを、できるだけおうちのひとにみせましょう。
- (2) えんぴつをけずり、ふでばこのなかをせいりしましょう。
(えんぴつ4ほん、あかえんぴつ1ほん、けしごむ1こ、じょうぎ、なまえペン)
- (3) よていをみて、あしたのじゅんびをしましょう。
⇒しゅくだいや、わすれものは、ありませんか？
⇒きょうかしよなどは、いちど、らんどせるからだして、よていをあわせましょう。

宿題に関する保々小学校の共通理解



保々小学校では、学力の定着と向上をめざすために、授業の充実と家庭学習の定着が学びを進める車の両輪となると捉えています。学校では教職員の校内研修の充実を図り、家庭には土日も含めた家庭学習の取り組みをお願いすることにしました。また、家庭学習については、各学期に1週間程度「家庭学習振り返り週間」を設け、保護者の方にも家庭学習に関心を持っていただき、お子様の頑張りを応援いただくようお願いしてきました。その結果、学年の目標時間はもとより、その内容を工夫するお子様が年々増えてきました。また、土日の家庭学習の充実を図るため、自主学習の取り組みを学級だよりなどで紹介するようにもしてきました。

家庭学習の取り組みは一年一年の積み重ねと捉えています。そのため、職員間で以下のことを共通理解と確かめ、裏面に各学年の家庭学習の手引きを掲載することにしました。各家庭のご協力を、お子様のためによりしくお願いします。

【宿題とは何か、何のために出すのか】

- ・宿題は『家庭学習の一部』と捉える。その日に学んだことの復習を基本の内容とします。
- ・学年が進むにつれ、量より質を大事にできる子を育てることをねらいとします。
- ・学ぶことは楽しい、わかることは楽しいということが小学校期にわかる子を育てていきたと思います。
- ・毎日の積み上げで、力をつけることができるようにします。

【宿題の内容と出し方】

- ・内容としては、漢字と算数は毎日の宿題に入っているようにします。
- ・量は、全員ができる量とこれだけはやって欲しい量を考えて出します。
- ・個別に内容や量を調整することはあります。
- ・時間の目安については引き続き「10分×学年数+10分」とします。(中学校1年生の段階で1時間以上集中して学習ができることが求められることから)
- ・目標時間に達しない子は、その時間を自主学習などに充てます。

【宿題をしてこなかった子への対応】

- ・「わからなかったからできなかった」という子もいます。忘れてきた理由を本人と確かめます。
- ・その理由によっては、学校で休み時間を使ってやらせることもあります。少なくとも、やらなくても・出さなくても「よし」とはしません。

【自主学習について気をつけたいこと】

- ・内容は、宿題や授業内容に関連したことを、話し合っ進めます。
- ・「自主学習とは、学力に結び付く内容である」ことを共通理解とし、例えば「文を書く力をつけたい」「まとめる力をつけたい」「わかりやすくまとめる、表す力をつけたい」など、「何のためにそれを自主学習としたのか」を子どもたちが意識できるようにします。
- ・自分で工夫しながら自主学習に取り組める子をめざして、発達段階に応じた形態をとるようにします。

【予定帳を大事に書く】

- ・予定帳は、学習内容も丁寧に書くようにします。
- ・宿題が何かわかるように丁寧に書くようにします。